

# No.1 糖尿病・内分泌内科

QI HbA1c < 7.0%の割合

分子 HbA1c(NGSP) の最終値が7.0%未満の外来患者数  
(データ算出期間最終日から直近3カ月内の検査最終日の数値を最終値とする)

分母 糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数  
(過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者)

根拠 糖尿病患者の血糖コントロールとして最も広く使用され、糖尿病学会の血糖コントロール目標に対するガイドラインもHbA1cを中心に目標値が設定されてる。また、日本病院会のQIプロジェクトにおいても推奨され、聖路加国際病院をはじめQIとして広く用いられている指標である。

目標 30%  
当院は外来患者数の制限を図っており、病態が落ち着いた患者は近医でのフォローに振り分け逆紹介している。よって、コントロール不良の状態で紹介され、コントロールが改善した段階で近医に逆紹介していることより、必然的にHbA1c > 7%のコントロール不良の患者人数が多いと考えれる。全国の糖尿病専門医の在籍する58施設の2016年調査により、1型および2型糖尿病を合わせた通院患者平均HbA1c 7.04%と報告されていることより、全国平均としてはHbA1c < 7%達成率のQIは50%となるが、上記理由により30%とした。

